

II クロス集計結果

図1 問6(1)「学校生活の満足度」と問8(1)「自己への評価」のクロス集計グラフ

【集計結果】

小学生、中学生、高校生とも、学校生活への満足度が高い子どもは自己肯定感が高い。

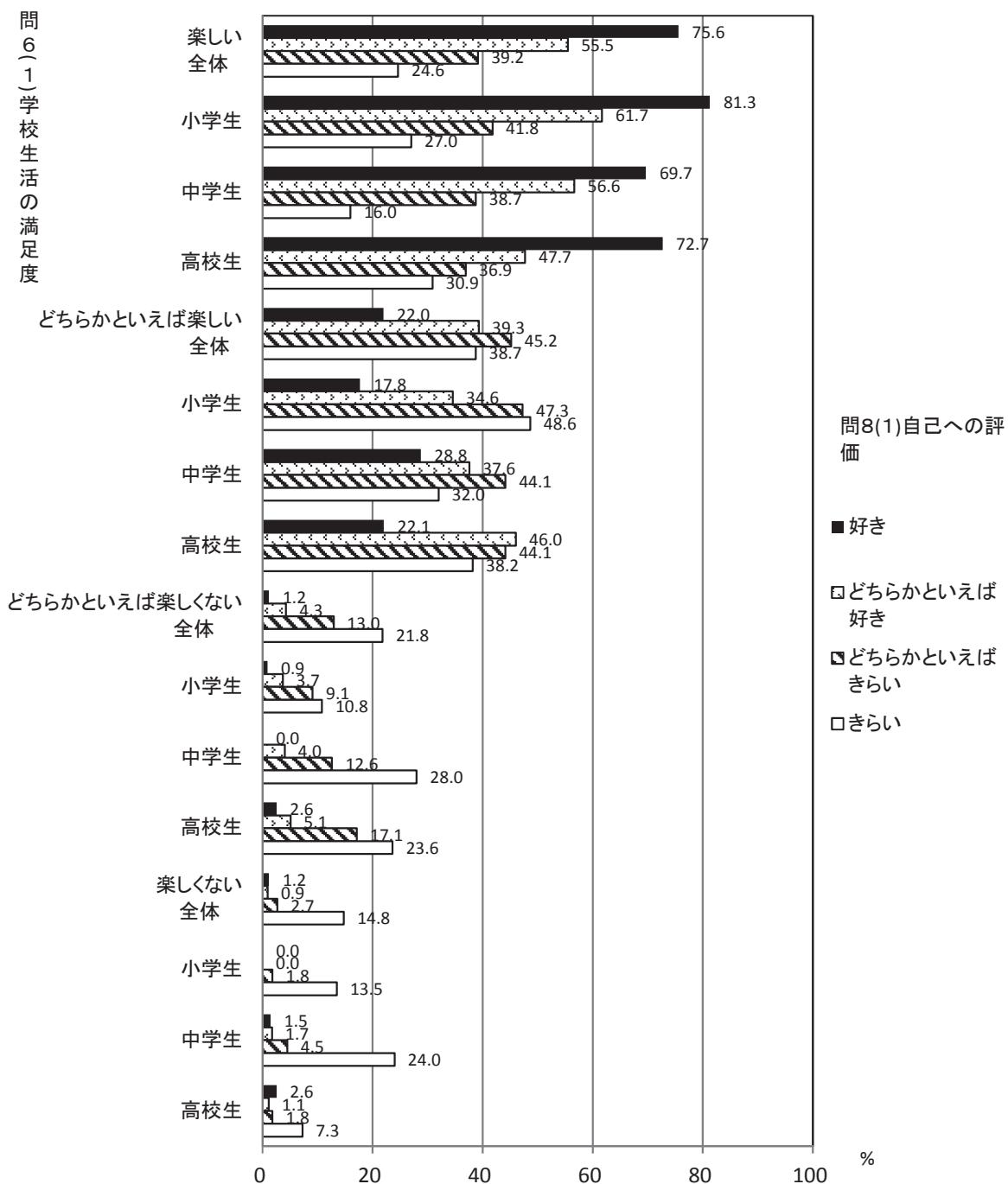


図2 問7(1)「家族・家庭への評価」と問8(1)「自己への評価」のクロス集計グラフ

【集計結果】

家族・家庭への評価が高い子どもは、自己肯定感が高い。

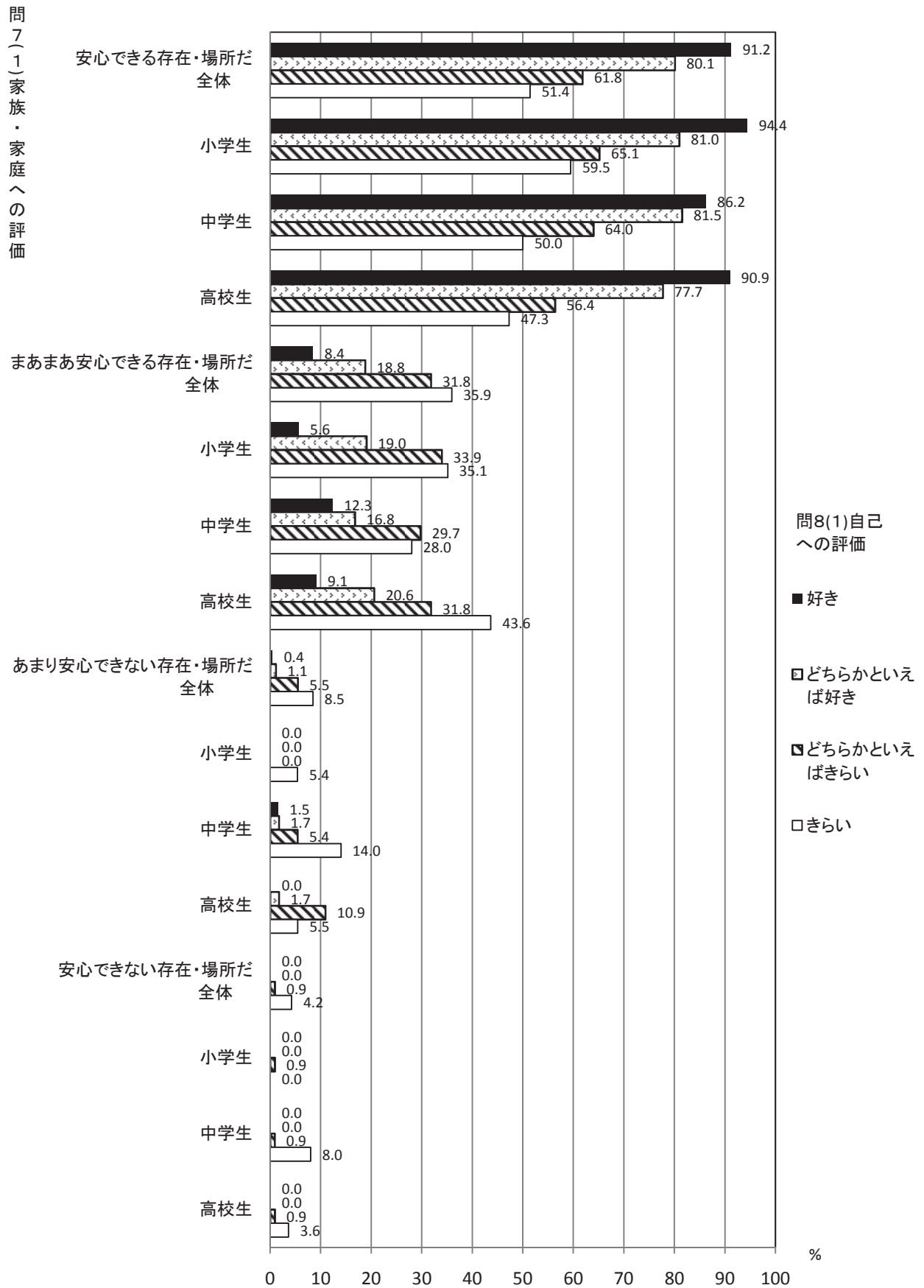


図3 問7(3)「家族で行う行事」と問8(1)「自己への評価」のクロス集計グラフ

【集計結果】

家族で行事をよく行っている子どもは、自己肯定感が高い。

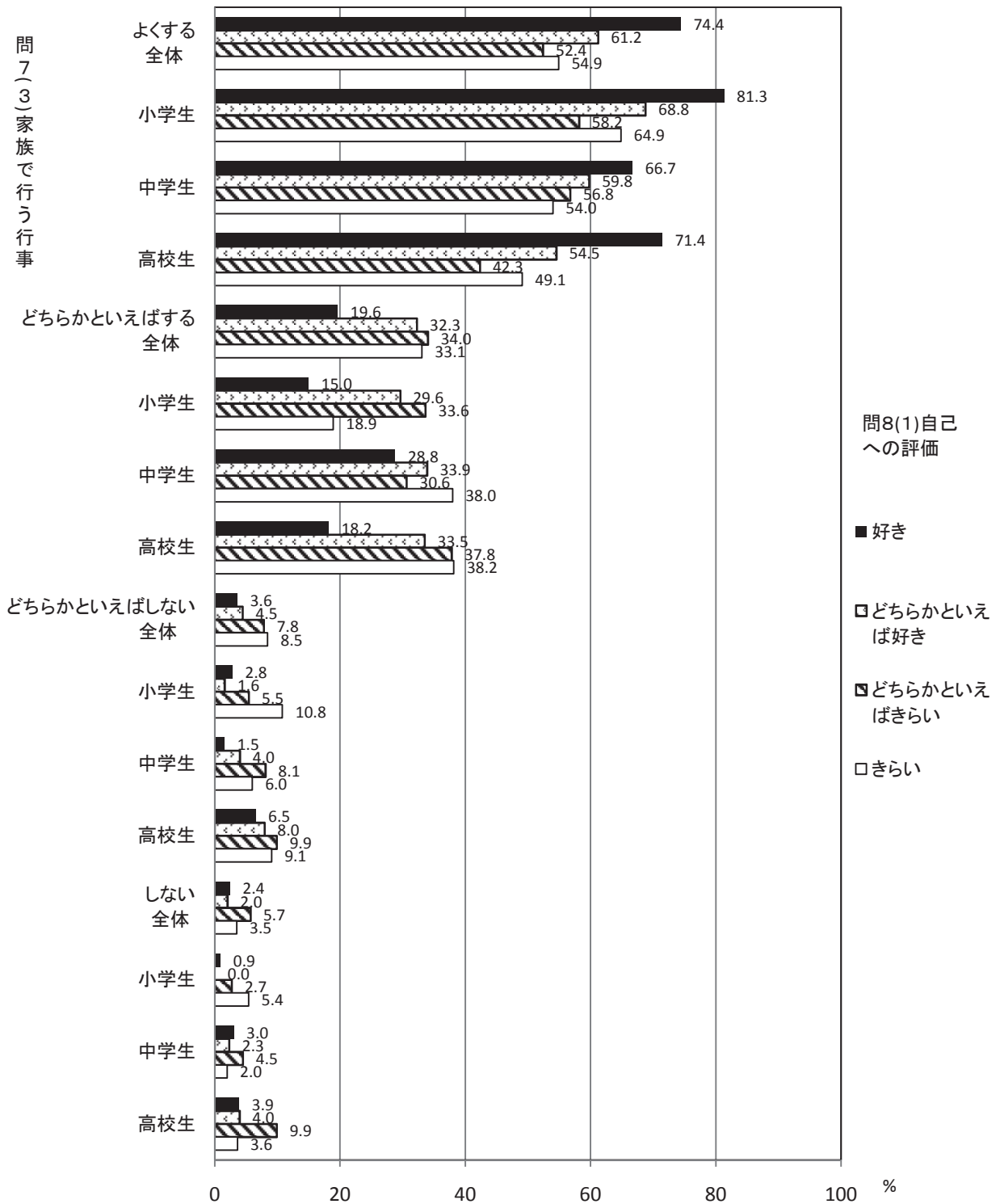


図4 問7(4)「お手伝い」と問8(1)「自己への評価」のクロス集計グラフ

【集計結果】

自己肯定感とお手伝いの頻度には相関関係は見られない。

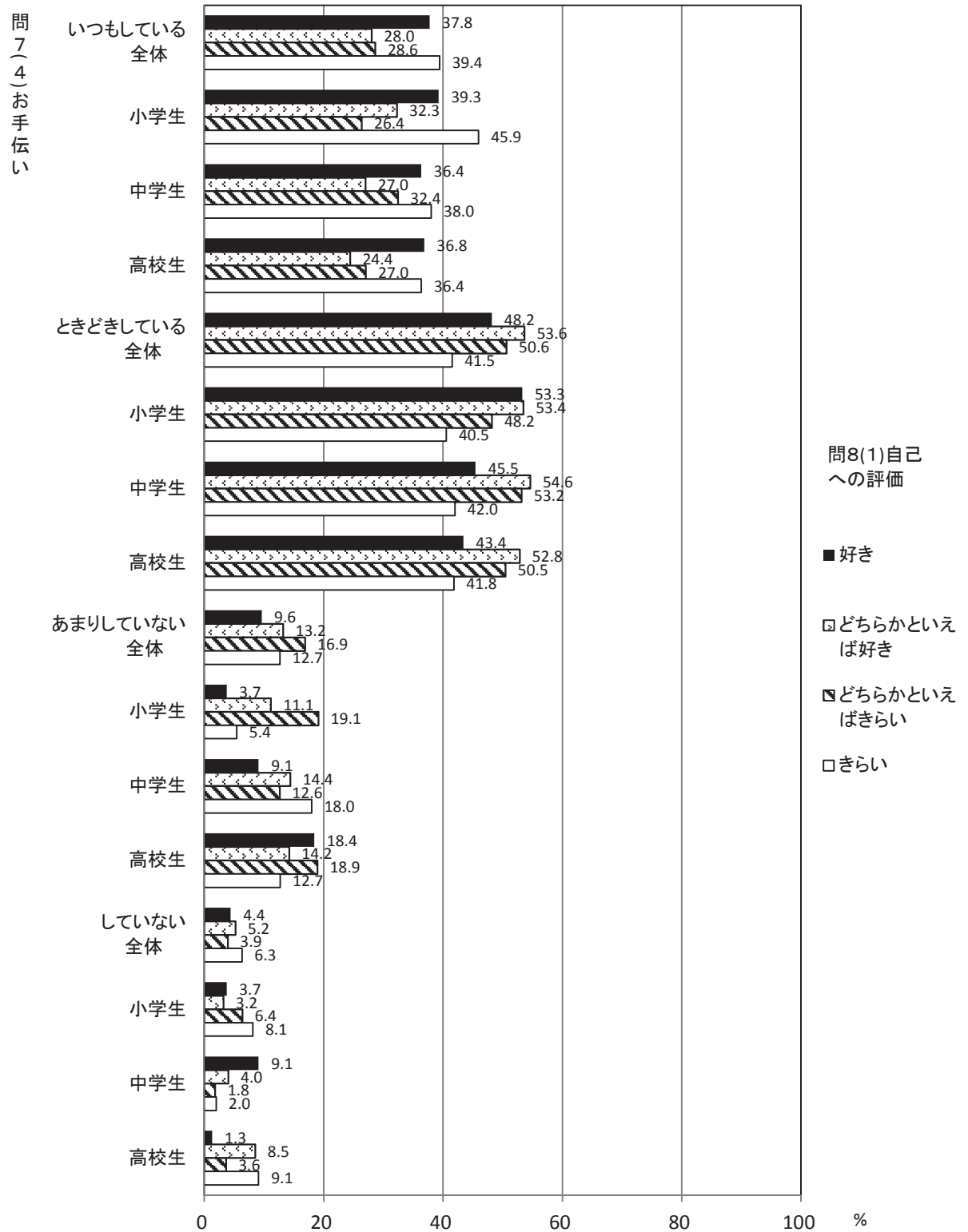
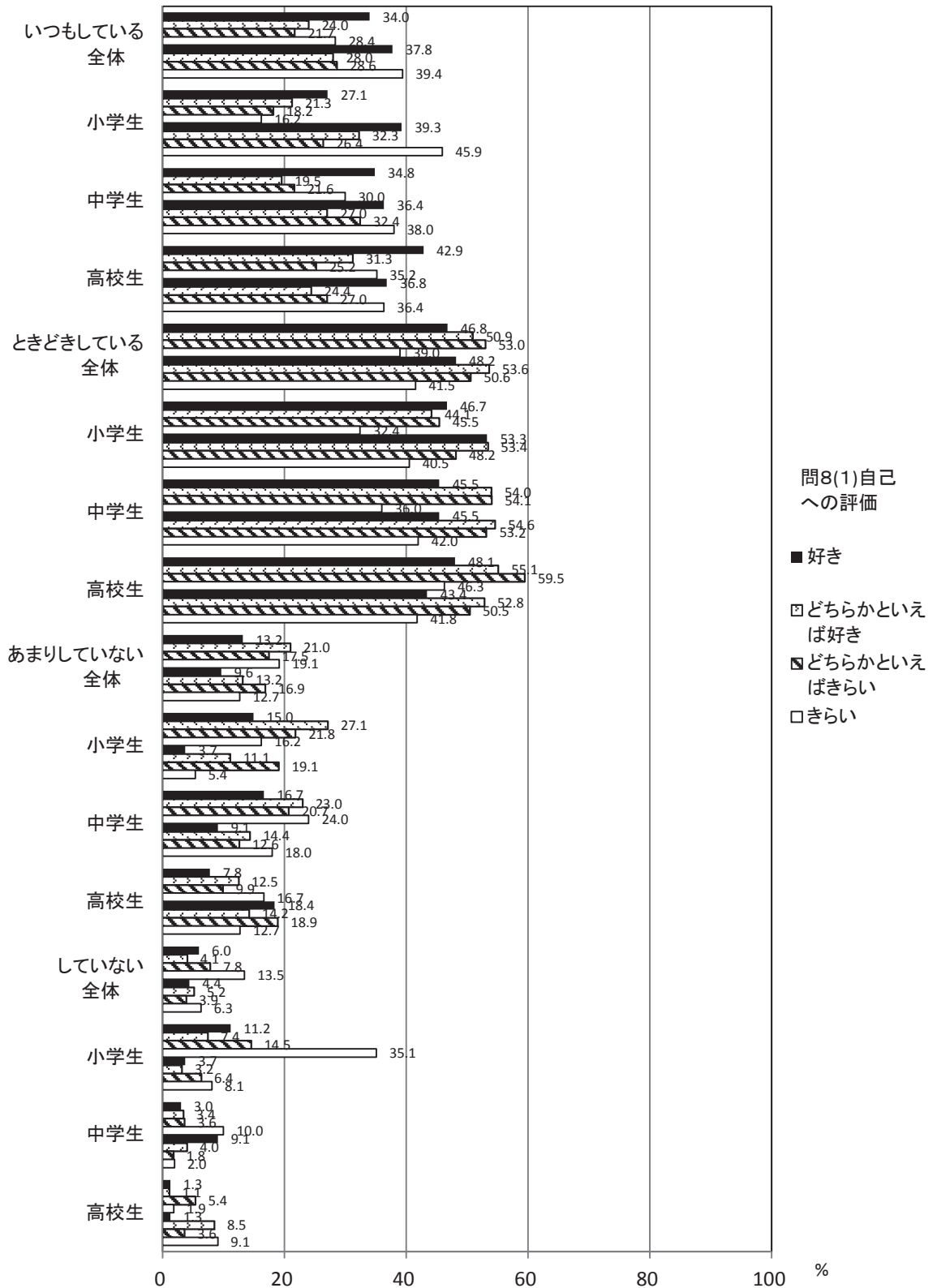


図5 問7(5)「家族と人生・将来の話をする事」と問8(1)「自己への評価」のクロス集計グラフ

【集計結果】

家族と人生・将来の話をする頻度と自己肯定感には相関関係は見られない。

問7(5)家族と人生・将来の話をする事



問8(1)自己への評価

- 好き
- ▨ どちらかといえば好き
- ▩ どちらかといえばきらい
- きらい

図6 問8(1)「自己への評価」と問10「他人への思いやり」

【集計結果】

小学生、中学生、高校生とも、他人へ思いやりを持って接している子どもは自己肯定感が高い。

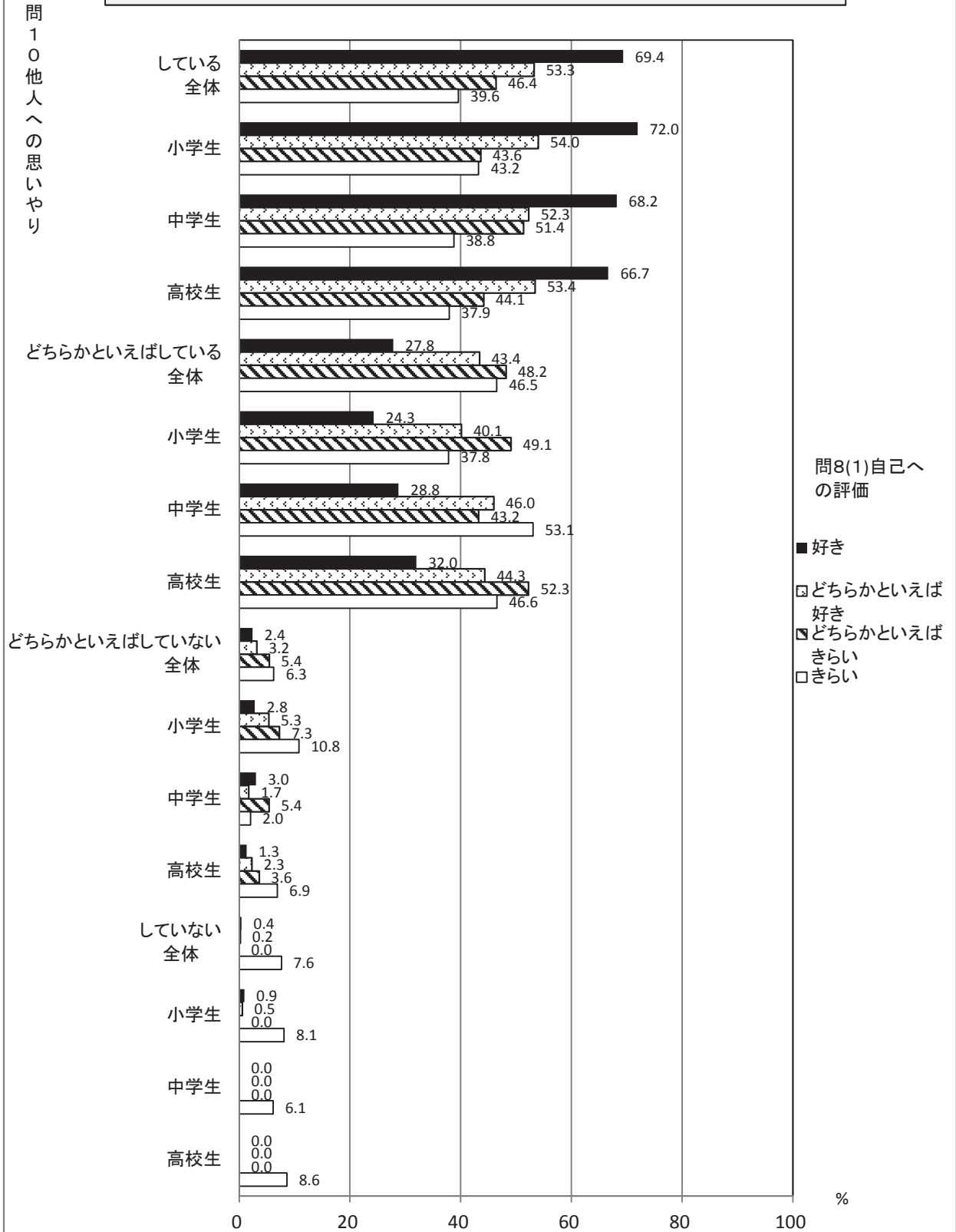


図7 問8(1)「自己への評価」と問13「自分より年齢の低い子どもの面倒を見ること」

【集計結果】

小学生においては、自分より年齢の低い子どもの面倒をよく見る子どもは、自己肯定感が高い。

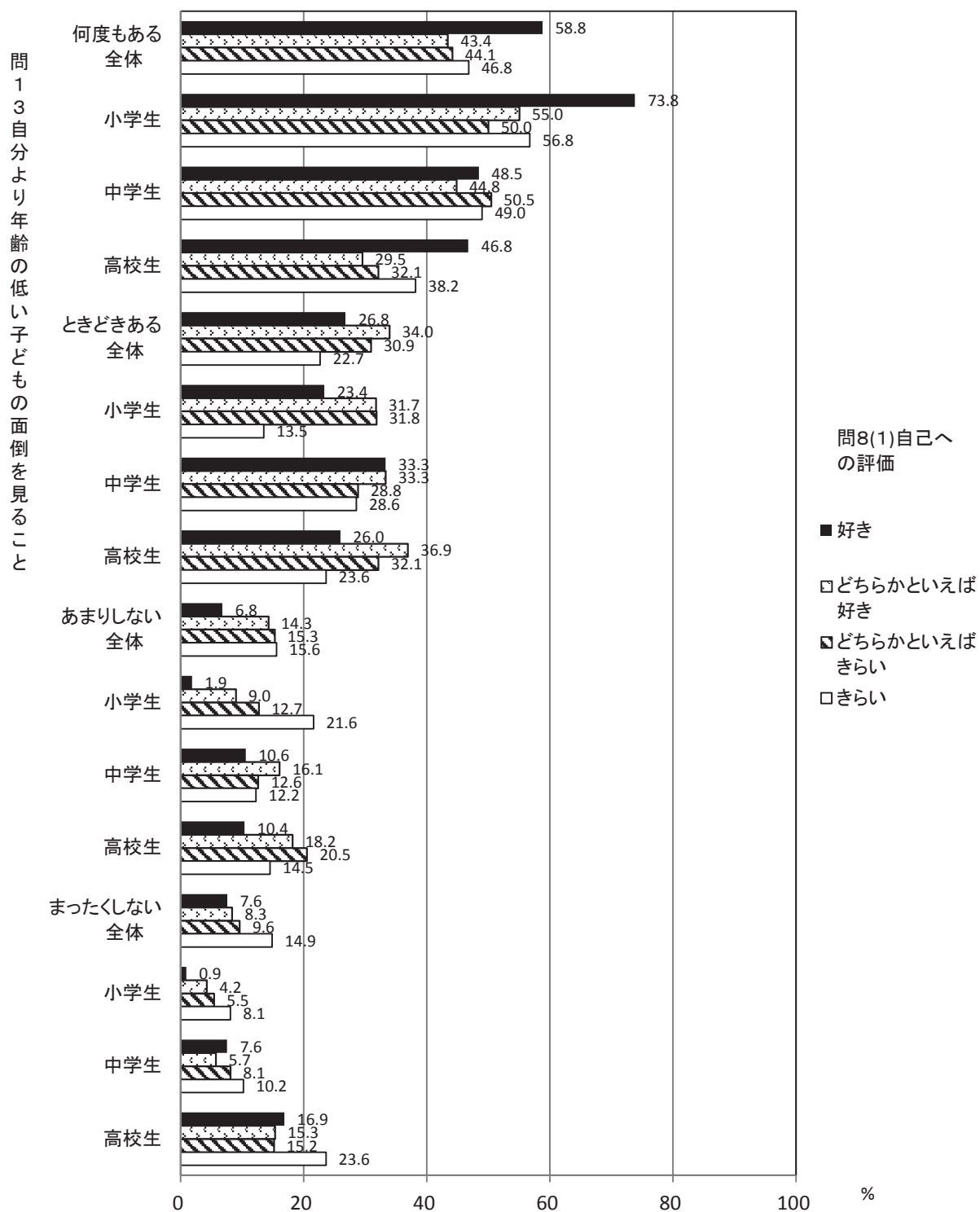


図8 問12「自己有用感」と問7(4)「お手伝い」

【集計結果】

小学生、中学生、高校生とも、よくお手伝いをする子どもは自己有用感が高い。

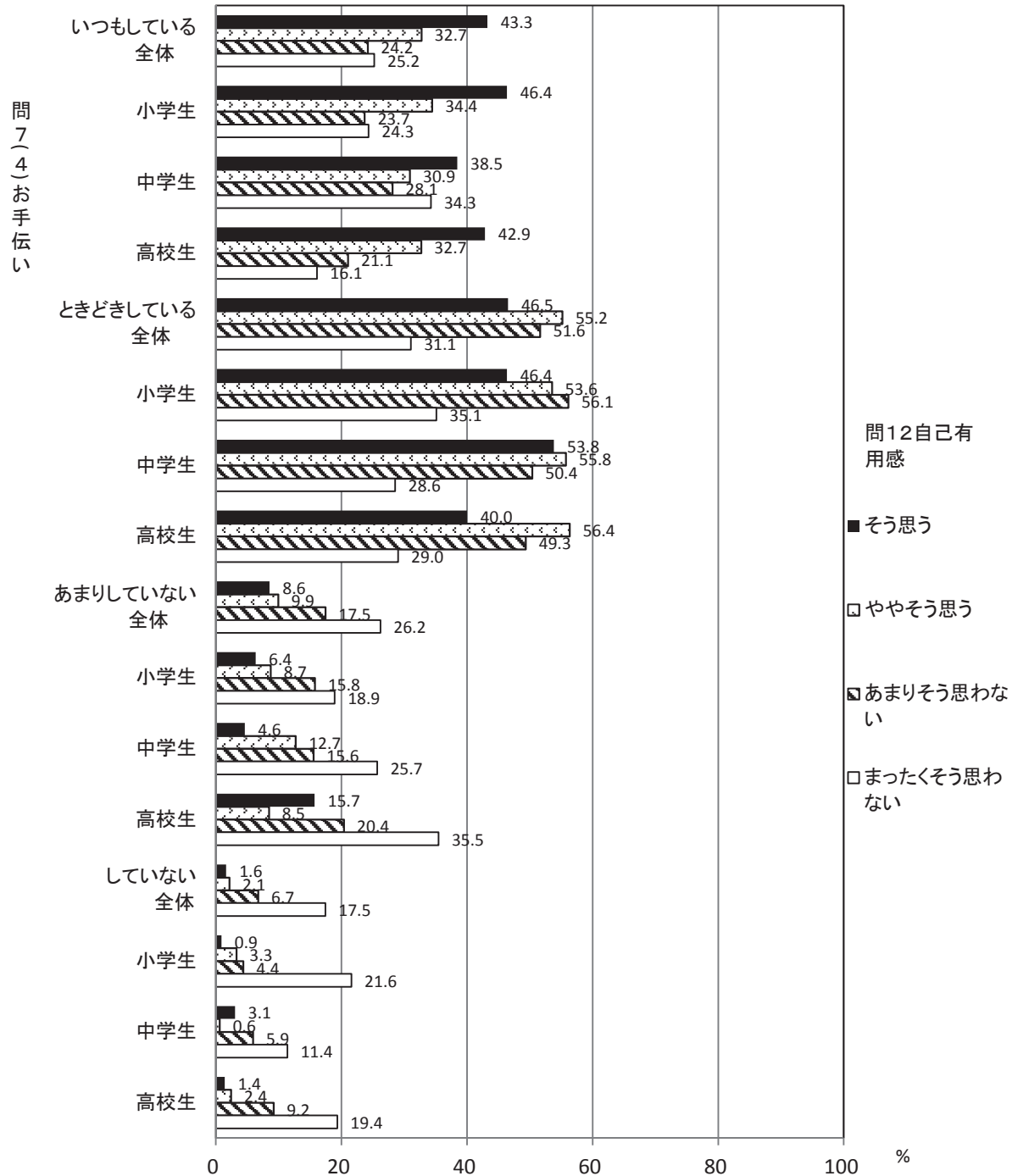


図9 問12「自己有用感」と問13「自分より年齢の低い子どもの面倒を見ること」

【集計結果】

小学生、中学生、高校生とも、何度も、自分より年齢の低い子どもの面倒を見る子どもは自己有用感が高い。

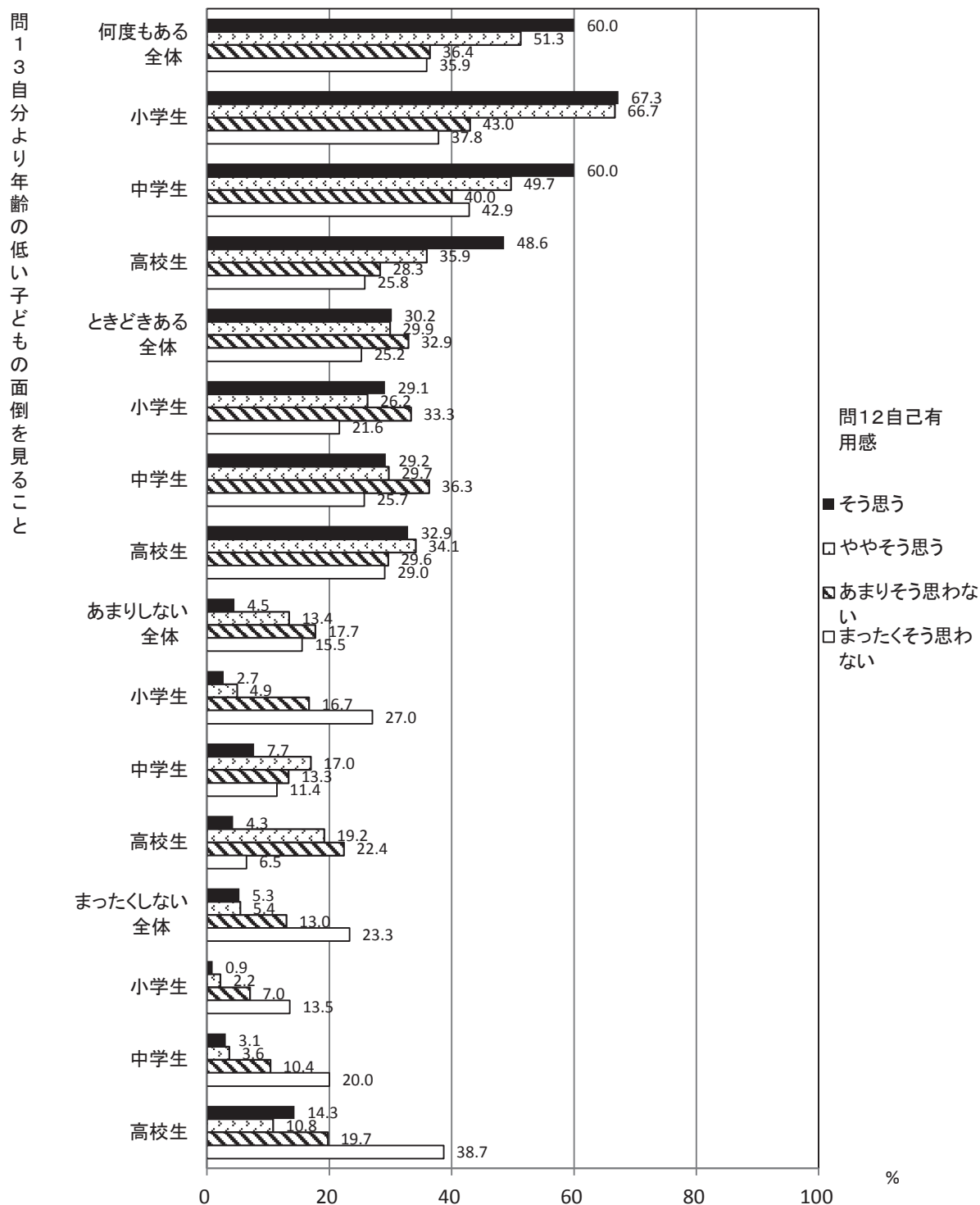


図10 問17(4)「インターネットにつながる機器の1日の使用時間」と問17(7)「フィルタリング機能状況」

【集計結果】

フィルタリングが有効になっていない場合、1日の使用時間がやや長くなる傾向がある。

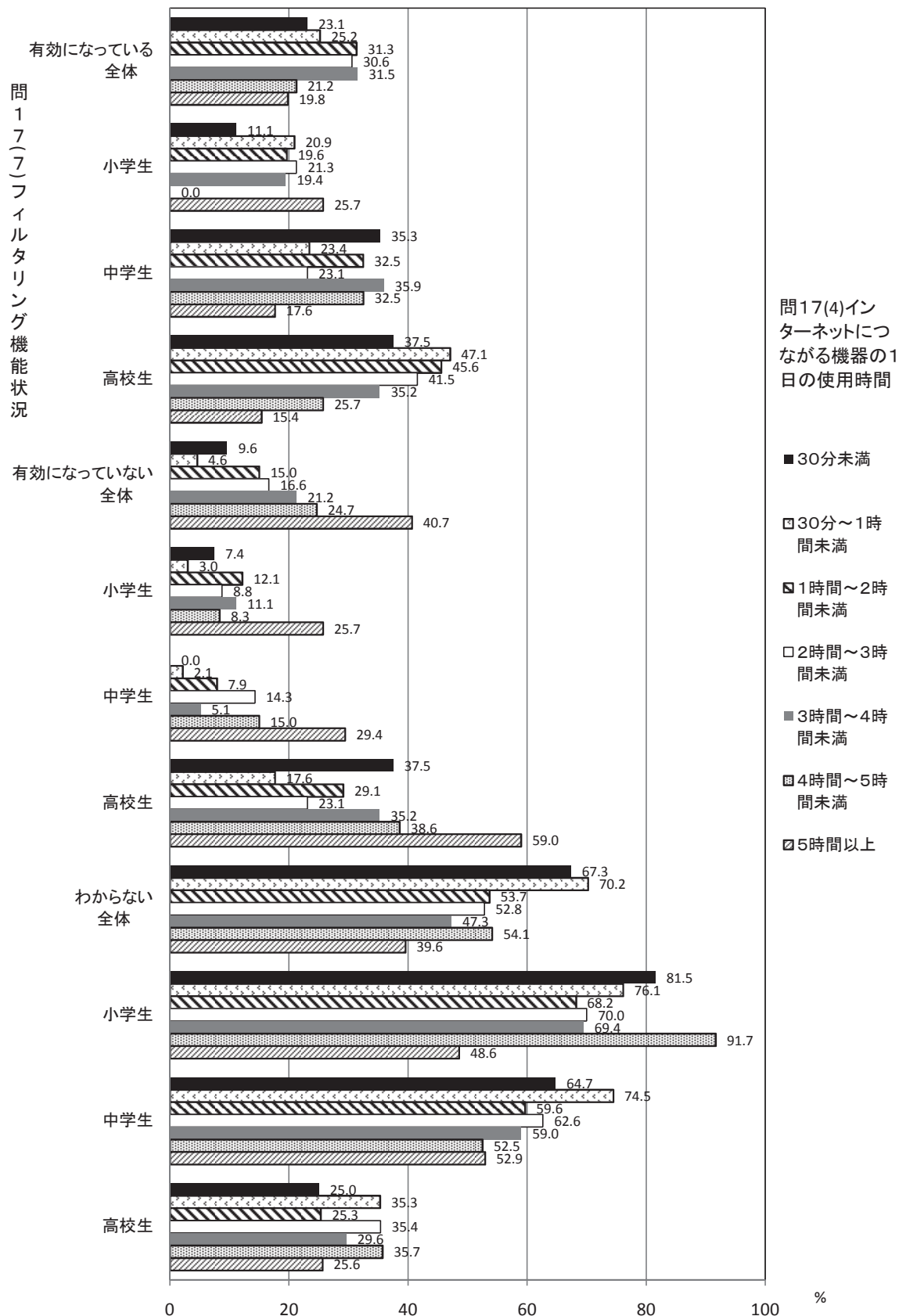
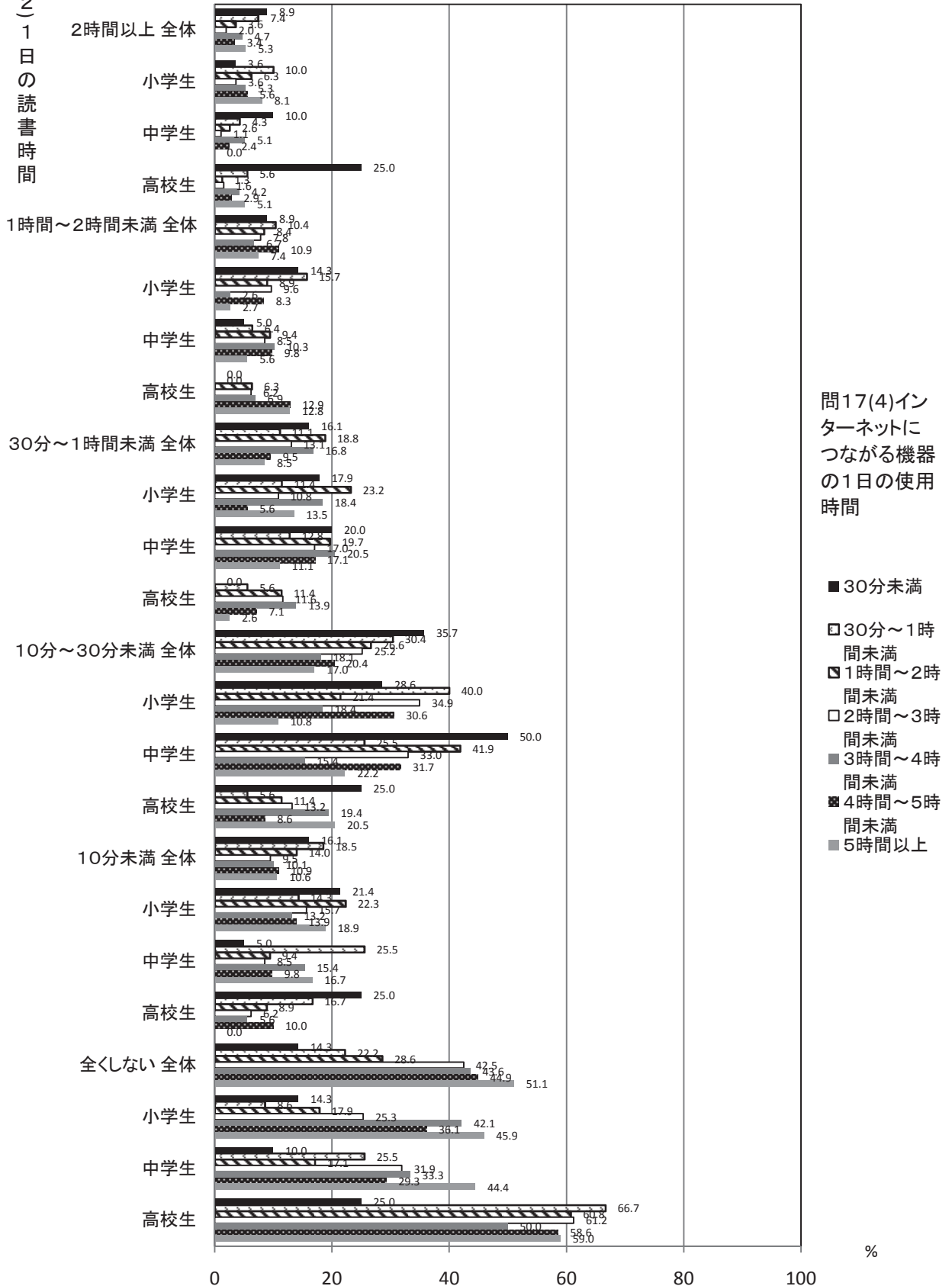


図11 問17(4)「インターネットにつながる機器の1日の使用時間」と問19(2)「1日の読書時間」

問19(2)1日の読書時間

【集計結果】

インターネットにつながる機器の使用時間が長いほど、1日の読書時間が短い。



問17(4)インターネットにつながる機器の1日の使用時間

- 30分未満
- 30分～1時間未満
- ▨ 1時間～2時間未満
- 2時間～3時間未満
- 3時間～4時間未満
- ▨ 4時間～5時間未満
- 5時間以上

図12 問18(6)「会ったことのない人との個人情報の交換」と
問20「政治・社会的事件についての会話」

小学生においては、政治・社会的事件についての会話をしている子どもは、会ったことのない人との個人情報の交換をしない傾向にあるが、中学生及び高校生においては、相関関係は見られない。

